

vol. 58

おおやすばしせきこうえん  
大安場史跡公園

# まるさんかくしかく

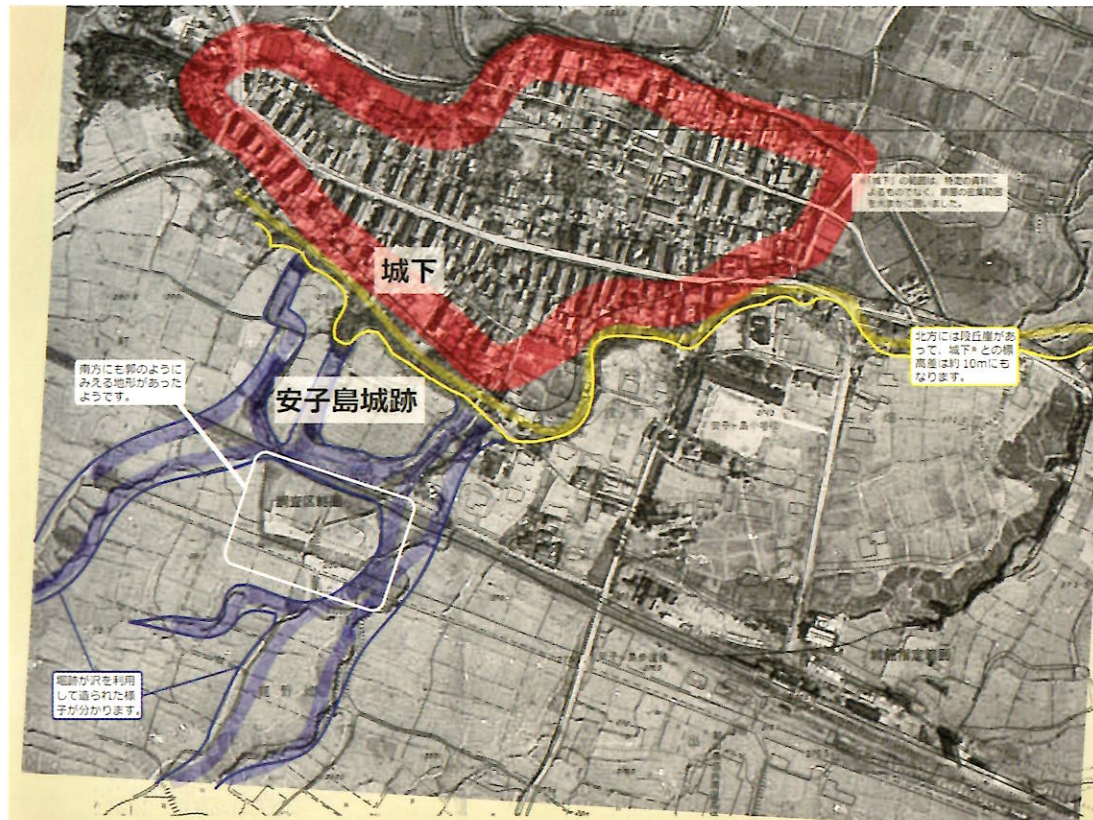
タイトルはまるい石削、さんかくは古墳の前方部しかくは後方を表現しています。



安子島城跡全景(西側より)



安子島城跡位置図(報告書より)



国土交通省国土地理院地図・空中写真閲覧サービス USA-R1208-57 19480330(昭23)を加工



「郡山附近地形図」発行年不明 郡山市図書館デジタルアーカイブより



今回は熱海町にある遺跡を紹介するよ！縄文時代の遺跡がたくさんあるんだよ！



市内各地域の主要な遺跡をご紹介します当施設恒例の第2回企画展。今年は、温泉街で知られる熱海町を取り上げます。熱海町は、市域の北西部に位置し、北の安達太良山から西の額取山、南東の藤田川上流域を占める広大なエリアで、北～西方が高い地形になっています。町内には『福島県埋蔵文化財包蔵地台帳』(福島県教育委員会)によれば87カ所の遺跡が登録されており、時代別ですと縄文時代が64カ所と圧倒的です。

※町内の詳細な遺跡一覧は、ネット環境にあるパソコンやスマホを利用した場合、以下のリンク及び右掲の黒色QRコードによるリンクでご覧になれます。

郡山市HP>>郡山市地図情報システム>>埋蔵文化財包蔵地マップ>>埋蔵文化財包蔵地  
※各遺跡の所在は、右掲の青色QRコードによるリンクでご覧になれます。



## 大安場史跡公園管理センター

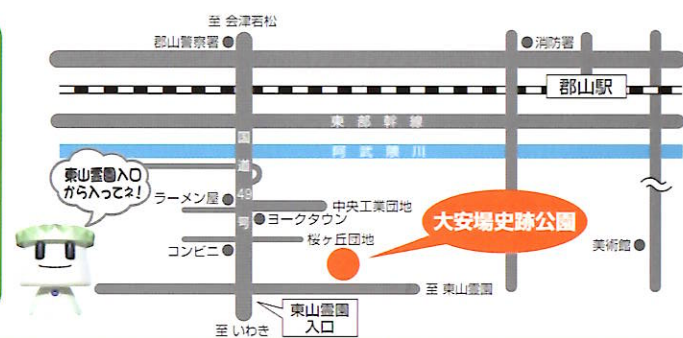
(公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地  
電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090  
Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp  
休館日:月曜日(月曜日が祝日の時は次の平日)  
※公園は年中無休です。

ウェブサイトもチェック!

大安場史跡公園

検索





## くび さわ い せき びわ首沢遺跡

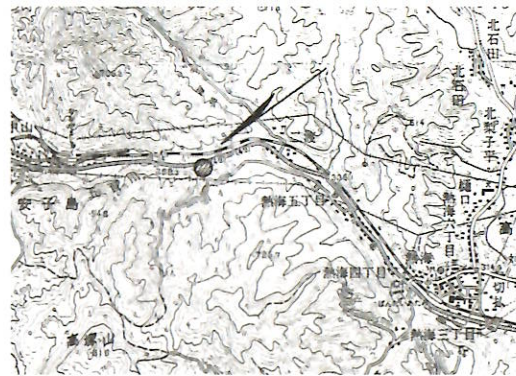
山間地区の多い町内にあって、山間地に立地する遺跡の代表です。調査から約40年経ちますが、その成果はいよいよ輝きを増しています。

- 所在地: 熱海町中山字平石
- 調査主体: 郡山市教育委員会
- 調査期間: 昭和54年(1979)4/11～6/30
- 主な遺構: 住居跡・土坑
- 調査面積: 約1,100㎡
- 調査原因: 農地整備
- 主な時代: 縄文

足掛け3カ月でしたが地権者の協力を得ての調査は、その後の緊急調査の嚆矢として貴重な事例となりました。発見遺構は、竪穴住居跡41棟・土坑37基。35棟の住居跡が縄文時代中期後葉(末葉)、4棟が後期、1基の土坑が晩期の年代観と共に報告されています。遺物は、縄文土器80点・土製品27点(土偶・土錘・土製円板)、石器85点(石鏃・石錐・石斧ほか)などが出土。最大の特徴として、25基も発見された複式炉があります。複式炉とは、石材と土器を組合せた炉が主に2基連なる形態で、市内では現在まで当遺跡を上回る数の発見例がありません。なお、今回の企画展では、これまで不明瞭であった遺物の出土遺構を紹介しております。



調査範囲遠景(東側より)



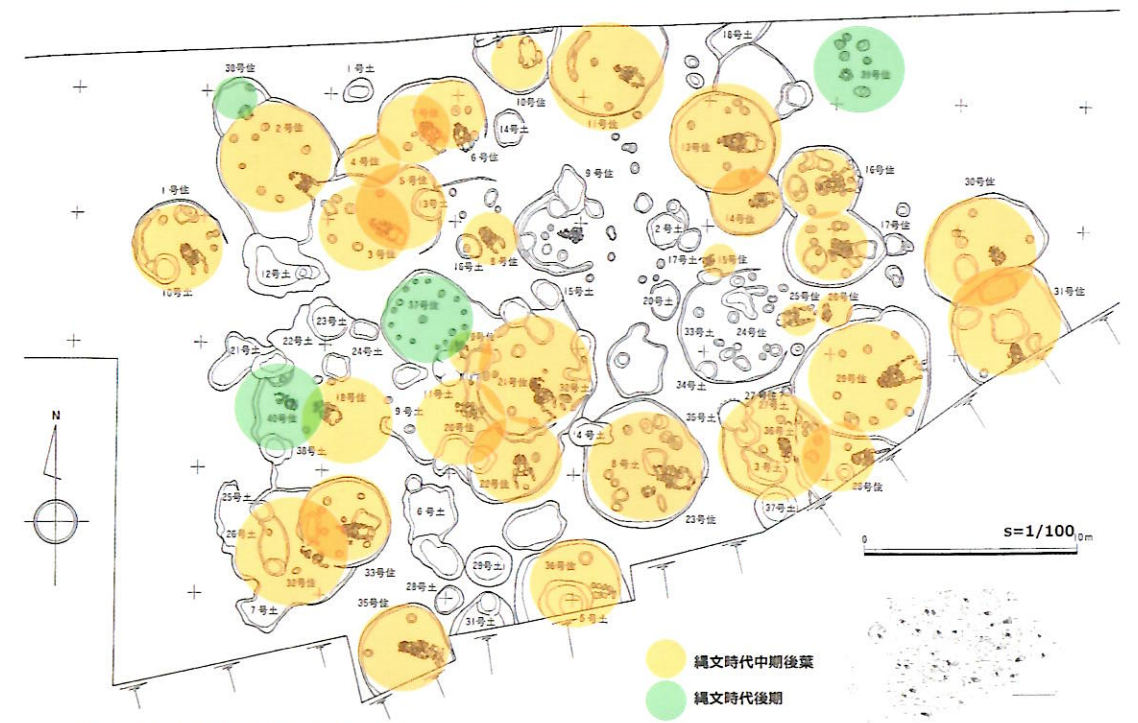
調査範囲位置図(報告書より)



29号住居跡全景(北側より)  
本調査範囲では最も発達した形状の複式炉とされる。  
炉の全長は210cmを超え、焚口が大きく開く。



23号住居跡出土土器



びわ首沢遺跡遺構平面図 ※本図は企画展のために報告書記載平面図を着色加工

## あ こ が し ま じ ょ う せ き 安子島城跡

山間部から盆地に向かって開けつつある地形に立地。本格的な発掘調査が実施された鎌倉時代の城館跡として、稀有な存在です。

- 所在地: 熱海町安子島字町・南町・館前・桜畑地内
- 調査主体: 郡山市教育委員会
- 調査期間: 平成4(1992)年5/7～平成5年2/8
- 検出遺構: 竪穴住居跡2棟  
郭3カ所・堀跡3条・土橋1カ所・土壘1基・竪穴状遺構11基・井戸跡8基・土坑97基  
ピット4,287基・溝跡3条・石組遺構1基
- 出土遺物: 土師器7点(坏・甕) 陶磁器片480点(碗・皿・鉢・壺・甕・鍋・香炉・花瓶・火鉢など)、土師質土器片1,467点(皿)、木製品:(漆器・曲物・下駄・柿経など)、石製品(硯・砥石・石臼など)、金属製品(銭・釘・刀子など)、動物遺体(イヌ)
- 調査面積: 12,000㎡
- 調査原因: 農地整備
- 主な時代: 平安時代・中世(鎌倉～戦国時代)

JR安子ヶ島駅の北西約50mに位置し、東西約660m、南北約300mの範囲が城館跡として遺跡地図に登録されています。五百川南方の段丘面に立地し、現況は水田や宅地です。調査では平安時代に住居が営まれた後、鎌倉～戦国時代には城館として利用されたようすが明らかにされました。出土した鎌倉～南北朝時代頃とされる青磁や白磁は、市内はもとより県内でも非常に貴重な資料と言えます。